

製品名: ニューロセルピンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87350**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:46 kDa; Observed MW:46 kDa

抗原情報

遺伝子名	Neuroserpin
別名	PI12; neuroserpin
遺伝子 ID	5274
SwissProt ID	Q99574
免疫原	ヒトニューロセルピンの組み換えタンパク質

背景

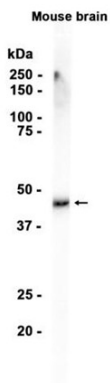
この遺伝子は、セリンプロテアーゼ阻害因子であるセルピンスーパーファミリーに属するタンパク質をコードする。このタンパク質

は主に脳の軸索から分泌され、組織型プラスミノゲン活性化因子と優先的に反応し、その活性を阻害する。軸索成長の調節とシナプス可塑性の発達に関与すると考えられている。この遺伝子の変異は、家族性ニューロセルピン封入体脳症（FENIB）を引き起こす。FENIBは、変異ニューロセルピンポリマーの蓄積を特徴とする、優性遺伝性の家族性脳症およびてんかんである。同一のタンパク質をコードする複数の選択的スプライシングバリエントが同定されている。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



Neuroserpin ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。